

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は本学大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	日本分子生物学学会 第38回会議（神戸ポートアイランド）
演題名	分裂酵母におけるヒストン転写制御の分子解明
発表者	○ <u>高山優子</u> 、※ <u>白井均樹</u> （修士1年）、増田史恵（染色体構築制御研究室）
内容	コアヒストン遺伝子転写は厳密に転写量の調節が行われていると考えられているが、詳しい分子メカニズムは明らかになっていない。我々は、分裂酵母のヒストン転写因子Ams2のDNA結合モチーフ欠損型の解析から、ヒストン転写活性化のメカニズムの一端を明らかにできたため、その報告を行った。本研究は、科学研究費補助金（基盤C）、武田助成金、内藤助成金による支援を受けて行った。